

# 答申（案）の作成に向けて

## 1. 第1回～第3回部会のまとめ

論点	回数	審議・検討内容	結論・方向性
(1) 今後の運営方法 (施設タイプの検討)	第1回	○公立施設として初めての幼保連携型認定こども園ができて、子どもたちや保護者にもどのような影響が生じているのかを聞かせてもらったうえで、これから再編するのであればどのような施設類型が良いのかをまとめていければよい。	●市立幼稚園、保育所は、幼保連携型認定こども園に移行することが望ましい。
	第2回	○道明寺こども園の運営に際し、大規模な組織を運営する課題として、職員の勤務時間が異なることにより先生方が協議する時間が取りにくいといった課題はある。 ○認定こども園は保護者の就労に関係なく通園できるのでこどもにとって一番いい場所であるはず。	
	第3回	○道明寺こども園の幼保連携型認定こども園移行に伴う効果検証について、「認定こども園推進本部と同様の評価とし、子どもたちは園生活を楽しんでおり、保護者の方も一定程度評価いただいている。課題については、今後の園運営の中で課題解決を進めていけるもの」と評価 ○市の幼児教育・保育環境を取り巻く課題に最も対応しやすいのは、幼保連携型認定こども園であると結論	
(2) 将来的な再編の方向性	第1回	○藤井寺市公共施設再編基本計画 ①藤井寺市公共施設等総合管理計画 ・施設再編による保有量の縮減 ・公共施設の新規整備は原則行わない ・施設の更新は複合施設とする ・施設保有量（延床面積）を30年間で15%縮減 ②個別施設の再編の方向性 未来を担う子どもの安全確保と就学前教育・保育サービスの充実 ○施設数、施設規模、どこの地域にあったら良いかを総合的に考えていく必要がある。 ○地域性を踏まえて検討するという点について、南東地域には第4保育所と道明寺南幼稚園しか施設がなく、地域の利用者が困っているという実態がある。	●都市計画マスタープランでの「地域性の定義」や藤井寺市公共施設再編基本計画での「公共施設の再編には地域性を踏まえる」という考え方を踏まえ、市内を4つの地域に分割した地域性を考慮した再編が望ましい。 ●公共施設再編基本計画より、就学前教育・保育サービスの充実のため、今後の児童の動向等を踏まえて地域を単位とした幼稚園・保育所の統合を検討するとしている。 ●地域における供給不足や需要と供給のミスマッチへの考慮が必要である。
	第2回	○今後も使う施設であれば、お金をかけて衛生面も施設の機能面も向上させる必要がある。財政が厳しいとは思いますが、ご対応いただきたいと思う。	
	第3回	○市立幼稚園、保育所及び認定こども園の課題解決について ・運営経費の比較 ・各認定こどもにおける需給バランス ・1号認定こどもは減少傾向、2,3号認定こどもは増加傾向 ・共働き世帯増加による長時間保育への対応 ・保護者の就労状況に関わらず通園し続けることができる施設か否か ・市の公共施設更新の考え方	

## 2. 答申（案）のたたき台について

(1) 諮問①「市立幼稚園・保育所・こども園の今後の運営方法について」

⇒ 市立幼稚園・保育所は、幼保連携型認定こども園に移行することが望ましい。

(2) 諮問②「幼稚園・保育所の将来的な再編の方向性」

⇒ 地域性を考慮に入れ、供給に不足のある地域から優先的に市立幼稚園・保育所を幼保連携型認定こども園に移行することが望ましい。

## 3. 附帯意見について

○第1回部会において、部会長より附帯意見を付すことについて提案があった。

○第1回～第3回の意見を踏まえ、附帯意見となる可能性のある事項については概ね以下のとおりである。

- ・公立の役割
- ・職員確保、働き方改革
- ・園の規模
- ・3歳児保育
- ・給食実施
- ・その他